

## 広島県公立大学法人における授業の実施状況等について

（ 令和3年4月19日  
高等教育担当 ）

令和3年度前期授業については、次のとおり取り組むこととし、新型コロナウイルス感染拡大状況等を踏まえて、柔軟に見直しを行う。

### 1 授業の実施方法

#### (1) 県立広島大学

##### ア 授業の実施

- 前期期間中の前半（4/8～6/9）は、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド授業を実施する。（対面授業の割合：約6割）

一つの授業科目の中で、講義が中心となる回はオンラインにより、アクティブ・ラーニング（グループワーク・ディスカッション、フィールドワーク等）や実験等が中心となる回は対面授業により実施

- 前期期間中の後半（6/10～7/30）は、対面授業を中心に実施する。

授業形態	実施内容
対面授業	アクティブ・ラーニングや実験等が中心となる回 ～ 講義室に収容する学生数を定員の1/2まで
オンライン授業	講義が中心となる回 ～ オンデマンド方式による場合においても、メールやチャット機能等を活用して、質疑応答や意見交換の機会を確保

##### イ 実習の実施

医療福祉関係の国家資格取得や教員免許取得等に係る実習については、原則、臨地において実施する。

#### (2) 叡啓大学

- 第1クォーター（4/5～6/2）は、対面授業を中心にオンラインを組み合わせたハイブリッド授業により実施する。（対面授業の割合：約7割）
- 第2クォーター（7/1～8/25）以降は、原則、対面授業により実施する。

### 2 新型コロナウイルス感染防止対策

- 県外から来広する学生には、授業開始前の2週間、健康観察・行動履歴を記録させる。（入学生は、入学式の2週間前からの健康観察を徹底）
- 学生は、健康管理アプリを活用するなどして毎日の健康状態を記録し、対面授業や臨地実習参加時に担当教員が確認する。
- 臨地実習に参加する学生には、2週間前から実習終了までの間、不要不急の外出を控えさせるとともに、受入施設の感染防止マニュアル等を順守させるなど、実習先施設における感染防止対策の徹底を図る。
- 県立広島大学（宇品キャンパス）及び叡啓大学について、県の「春のPCR検査集中実施（4/12～4/25）」に参画し、県外から来広した学生等を対象としてPCR検査を実施する。